

核医学診療科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 甲状腺癌に対する I-131Ablation*¹における rhTSH*²の甲状腺ホルモン休薬と比較した治療時副作用軽減効果の検討

*1 甲状腺癌に対する甲状腺全摘術の後、微小に残存している甲状腺組織を、ヨード放射性同位元素である I-131 を内服して治療することで、再発率を下げる治療です。

*2 人工的に作られた甲状腺刺激ホルモンのことで、後述のタイロゲンという薬がそれにあたります。

[研究機関] 北海道大学病院核医学診療科

[研究責任者] 志賀 哲 （核医学診療科・准教授）

[研究の目的]

当科で放射性ヨード内用療法を受けた患者さんの前処置の方法について、タイロゲン使用と甲状腺ホルモン内服中止の臨床症状の差を検討し、今後より良い治療を行えるように検討をしていきます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

甲状腺癌の患者さんで、平成 24 年 7 月 1 日から平成 26 年 7 月 31 日の間に当院核医学診療科に入院し放射性ヨード内用療法を受けた方

●利用するカルテ情報

①年齢、性別、病理診断(病期)

②病歴情報

③I-131 治療内容

④I-131 治療後シンチグラフィ

⑤FDG-PET

⑥頸部エコー検査

⑦採血結果項目(血液学的検査、生化学検査、血清サイログロブリン、血清抗サイログロブリン抗体、血清 TSH)

⑧I-131 内用療法前後の臨床症状に関するカルテ記載

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院核医学診療科 担当医師 志賀 哲、岡本 祥三、内山 裕子、豊永拓哉

電話 011-706-5776(核医学診療科外来)